

編集後記

本号には、原著2本、短報1本、報告3本、その他5本、寄稿1本の都合12本の論文が掲載されています。研究の成果を投稿していただいた論文の著者の皆さまと、投稿論文を丁寧に読み込んでいただいた査読者の皆さまに心からお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

本号では、本学の附置機関である実践教育センターの取組みについて、センター長の石原美和教授に寄稿をお願いしました。本学では、学部での専門職養成、保健福祉学研究科およびヘルスイノベーション研究科での人材育成とともに、実践教育センターで実務家教育を行っています。本学創設からおよそ20年がたち、実践教育センターが果たしてきた役割と今後の見通しについてご紹介いただきました。

今年度は新型コロナウイルス感染症をめぐる混乱が始まった年でした。私たち教員はオンライン授業の準備や内容の組替え、代替措置の実施などを余儀なくされ、学科・専攻によっては、保健・医療・福祉の専門職を養成する本学できわめて重要な実習を諦めることになりました。それでもなおできる限りの教育を行うために、私たち教員は教育により一層時間を割くことになりました。やむを得ないことではありましたが、その分研究がおろそかになってしまうことは避けられません。研究委員会では、大学誌への投稿論文が激減するのではないかと危惧していたところです。しかし、実際には新型コロナウイルス感染症をめぐる実務的な報告を含めて、ほぼ例年通りの投稿論文がありました。本当にうれしい驚きでした。新型コロナウイルスをめぐる混乱はいまだに続いており、保健・医療・福祉の現場では厳しい闘いが続いています。現場にいる本学の卒業生・修了生たちのためにも、実践に、そして、社会に何かできないか、私たちは研究者として考えねばなりません。

本号より投稿論文の随時投稿が可能になっています。次号以降も皆さまからの投稿論文をお待ちしています。

最後になりますが、本号の発刊にご協力いただいた研究委員会および事務局の皆さまに改めて感謝を申し上げます。どうもありがとうございました。

大学誌編集委員長 川久保 寛

2020（令和2）年度研究委員会 神奈川県立保健福祉大学誌編集委員会

◎榊恵子（看護学科）、駿藤晶子（栄養学科）、○川久保寛（社会福祉学科）、田中繁治（リハビリテーション学科）、木村芳滋（人間総合科）、中原慎二（ヘルスイノベーション研究科）（◎研究委員会委員長、○大学誌編集委員長）、千濱佳子（事務局 企画・地域貢献課）

神奈川県立保健福祉大学誌 第18巻第1号
Journal of Kanagawa University of Human Services

発行 2021（令和3）年3月

編集 神奈川県立保健福祉大学研究委員会

発行所 神奈川県立保健福祉大学

〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町1-10-1

TEL：046-828-2530

印刷所 株式会社アシスト

〒252-0815 神奈川県藤沢市石川1-5-6-103

TEL：0466-53-8872

大学誌に掲載された論文（リポジトリに登録された論文を含む）の著作権は、大学に帰属します。著作権法に規定されている私的利用や引用などの範囲を超える利用を行う場合には、神奈川県立保健福祉大学研究委員会事務局（企画・地域貢献課 TEL：046-828-2530）までご相談ください。

※電子メールでのお問い合わせは、附属図書館（library@kuhs.ac.jp）までお願いします。